（別添資料１）

事業所名　多機能型こども支援センターあいりす（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日　令和7 年 3 月 28 日

法人（事業所）理念		○住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、地域福祉の推進に努めます。○人間としての尊厳と社会連帯の思想を基本に、公平公正な運営を目指します。 ○ご利用者の基本的人権を尊重し、個々の能力に応じ日常生活に必要な福祉サービスの提供に努めます。○職員の資質向上を図ると共に、一人一人が目標を持ち質の高いサービスを提供できるように努めます。			
支援方針		（幼少期）お子様の「育つ力」をその家族と支え合いながら発達の土台を作る。 （学齢期）「たのしい」「できた」「やってみる」を積み重ねていく中で「自分の大切さ」「自分だけでないみんな」を五感で感じとっていく。 「やってみたい」「やろう」を思っていく中で「将来の生活」につながる自分を見つける。またいろいろな人と出会い見聞を深める。			
営業時間		学校日 10 時 0 分から 19 時 0 分まで		送迎実施の有無	あり　なし
本人支援	健康・生活	・健康状態(検温・顔色・ボディーチェック・排便・睡眠など)や心身の状態(機嫌・表情・言動など)観察し、変化に気付くように心がけます。 ・生活のリズムの安定、日常生活動作のスキルアップにつとめます(食事のマナー・トイレトレーニング・挨拶など)			
	運動・感覚	・五感を使ったレクリエーション(粘土・リトミック・クッキング・工作など)や、目と手や身体を一緒に動かす練習をします。 ・散歩やラジオ体操など、筋力を維持し身体と心のバランス・コントロールを図ります			
	認知・行動	・当日の日付・曜日・天気・利用者・支援員・予定など、視覚でわかるよう掲示します。 ・個々の感覚特性に配慮した環境を整え、苦手な課題にも取り組めるようチャレンジ精神を養います。 ・タイマーを用いて活動の切り替えを視覚と聴覚にて促し、時間を意識して自ら行動することを支援します			
	言語 コミュニケーション	・集団遊びの中で自分の考えを相手に伝えたり、人との距離感を学べるように支援します。 ・個々の特性に応じてマカトン・言葉・絵カード・身振りなどでコミュニケーション手段を活用します。			
	人間関係 社会性	・1人遊びや集団遊びの活動を通し、自己理解・他者理解を養い、必要なスキルを身につけます。 ・生活の中で楽しいと感じることを身につけ、相手を思いやる心や感情のコントロールを育みます。			
家族支援		送迎時や連絡帳を通じて保護者の不安や心配事に耳を傾け、いつでも相談できる環境を整え、支えになるよう努めていきます。		移行支援	小中高校卒業後の進路について、各関係機関と情報共有(学校・放課後等デイサービス・相談支援事業所・施設訪問等）を行っていきます。
地域支援・地域連携		地域の行事に参加(お祭り・掃除・防災訓練など)し、施設や利用者の存在の周知と理解に努めます		職員の質の向上	全体会議で職員同士の意見交換や情報共有をし、研修の報告など自分自身のスキルアップを目指します。
主な行事等		施設で季節の行事(節分・お誕生日会・クリスマス会・デイキャンプ・農業体験・ハンドベルコンサート・夏祭りなど)			